

受験番号		名前	
------	--	----	--

平成 29 年度大阪市公立学校・幼稚園教員採用選考テスト

第 1 次選考 筆答 問題（択一式）

受験中の心得

- 1 試験時間中は、すべて係員の指示に従ってください。お互いに話をしたり、席を立ったり、そのほか、人の迷惑になるようなことをしてはいけません。
- 2 解答用紙が配付されたら、まず名前を記入し、受験番号等を次の〔記入例〕に従って黒くぬりつぶしてください。

〔記入例〕

解答用紙		名前	
受験番号	会場 教室 席番	教育 花子	■
A 9 B 8 C 7 D 6 E 5 F 0	A 1 B 0 C 2 D 0 E 4 F 5		
A ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ●	A ● ② ③		●
B ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⑩	B ① ②		●
C ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ● ⑧ ⑨ ⑩	C ① ● ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩		●
D ① ② ③ ④ ⑤ ● ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	D ①		●
E ① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	E ① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩		●
F ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ●	F ① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩		●

- 3 答えは解答用紙に記入してください。機械が判読できず解答が無効となる場合がありますので、マークは **HB、B の鉛筆** で濃く確実にぬりつぶしてください。また、受験番号等の記入ミス等、不正確な記入をした場合は解答用紙が無効になることもありますので、正確に記入してください。
- 4 問題はいずれも五つの答がでていますが、そのうち最も適切と思われる答えを一つ選んで、問題で指示された解答番号の右にある五つの数字のうち一つを次の〔解答例〕のように黒くぬりつぶしてください。

〔解答例〕

① 日本の首都はどこか。1～5から一つ選べ。解答番号は

1 京都 2 奈良 3 東京 4 名古屋 5 大阪

この場合、正答は「3 東京」なので、解答用紙の問題番号 の右横に並んでいる③を黒くぬりつぶせばよいのです。

① ② ● ④ ⑤

- 5 間違っぬりつぶしたときは、消しゴムでよく消してください。
- 6 問題は ～ まであります。解答番号は、1 番～50 番まであります。
 - ・ 社会人経験者特例、または講師等経験者特例に該当する受験者は、解答番号 41～50 の問題のみ解答してください。それ以外の問題を解答しても採点はしません。
 - ・ 特例なしの受験者は、解答番号 1～50 の問題を全て解答してください。
- 7 試験時間は、特例なしの受験者は 90 分、社会人経験者特例、または講師等経験者特例に該当する受験者は 45 分 です。
- 8 試験開始から試験終了まで、退室できません。
- 9 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
- 10 計算を必要とする場合は、問題集の余白を利用してください。
- 11 そのほか、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

1 次は、教育や公務員に関する法規からの出題である。各問いに答えよ。

問1 次の各文は、教育や公務員に関する法規の条文または条文の一部である。これらが規定されている法規を下のア～カから選ぶ場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- A 国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。
- B すべて公務員は、全体の奉仕者であつて、一部の奉仕者ではない。
- C 学齢児童又は学齢生徒を使用する者は、その使用によつて、当該学齢児童又は学齢生徒が、義務教育を受けることを妨げてはならない。

ア 学校教育法	イ 学校教育法施行規則	ウ 日本国憲法
エ 教育基本法	オ 社会教育法	カ 地方公務員法

- | | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | エ | カ | イ |
| 2 | オ | ウ | エ |
| 3 | エ | ウ | ア |
| 4 | オ | ウ | イ |
| 5 | エ | カ | ア |

問2 次の各文のうち、[] 内に示されている法規の条文または条文の一部として誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

1 [学校教育法]

学校の設置者は、その設置する学校を管理し、法令に特別の定のある場合を除いては、その学校の経費を負担する。

2 [学校教育法]

この法律で、学校とは、幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校とする。

3 [学校教育法施行規則]

校長及び教員が児童等に懲戒を加えるに当つては、児童等の心身の発達に应ずる等教育上必要な配慮をしなければならない。

4 [学校教育法施行規則]

学校には、その学校の目的を実現するために必要な校地、校舎、校具、運動場、図書館又は図書室、保健室その他の設備を設けなければならない。

5 [地方公務員法]

職員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。ただし、その職を退いた後は、その限りでない。

2 次は、教育基本法の条文である。各問いに答えよ。

第十条 父母その他の保護者は、子の教育について を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、 を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。

2 国及び地方公共団体は、家庭教育の を尊重しつつ、保護者に対する学習の機会及び情報の提供その他の家庭教育を するために必要な施策を講ずるよう努めなければならない。

第十二条 個人の要望や社会の要請にこたえ、社会において行われる教育は、国及び地方公共団体によって されなければならない。

2 国及び地方公共団体は、図書館、博物館、公民館その他の 施設の設置、学校の施設の利用、学習の機会及び情報の提供その他の適当な方法によって の振興に努めなければならない。

問1 空欄A、Bに当てはまる語句を入れてこの条文を完成させる場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

	A	B
1	第一義的責任	社会性
2	最大の責務	自立心
3	固有の権利	生きる力
4	第一義的責任	自立心
5	最大の責務	生きる力

問2 空欄C、Dに当てはまる語句を入れてこの条文を完成させる場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

	C	D
1	主体性	調査
2	独自性	指導
3	自主性	指導
4	独自性	支援
5	自主性	支援

問3 空欄E、Fに当てはまる語句を入れてこの条文を完成させる場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

	E	F
1	実施	生涯学習
2	奨励	生涯学習
3	奨励	社会教育
4	尊重	社会教育
5	実施	社会教育

3 次は、児童虐待の防止等に関する法律の条文または条文の一部であるが、下線部については誤りが含まれているものがある。各問いに答えよ。

第五条 学校、児童福祉施設、病院その他児童の福祉に業務上関係のある団体及び学校の教職員、児童福祉施設の職員、医師、保健師、弁護士その他児童の福祉に職務上関係のある者は、児童虐待を A 未然防止 しやすい立場にあることを自覚し、児童虐待の B 早期発見 に努めなければならない。

2 前項に規定する者は、児童虐待の予防その他の児童虐待の防止並びに児童虐待を受けた児童の C 保護 及び D 生活環境の改善 に関する国及び地方公共団体の施策に協力するよう努めなければならない。

3 学校及び児童福祉施設は、児童及び保護者に対して、児童虐待の防止のための教育又は に努めなければならない。

第六条 児童虐待を受けたと思われる児童を発見した者は、速やかに、これを市町村、都道府県の設置する福祉事務所若しくは 又は児童委員を介して市町村、都道府県の設置する福祉事務所若しくは に通告しなければならない。

問1 下線部A～Dの語句のうち、誤っているもののみをすべて挙げているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 B D

問2 空欄Eに当てはまる語句はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 啓発
- 2 指導
- 3 調査
- 4 支援
- 5 研修

問3 空欄Fに当てはまる語句はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 警察署
- 2 児童福祉審議会
- 3 保健所
- 4 児童相談所
- 5 家庭裁判所

4 次は、義務教育に関する出題である。各問いに答えよ。

問1 次の文は、教育基本法第五条第二項である。空欄Aに当てはまる語句はどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

第五条

2 義務教育として行われる は、各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うことを目的として行われるものとする。

- 1 専門教育
- 2 政治教育
- 3 キャリア教育
- 4 学校教育
- 5 普通教育

問2 次の各文は、学校教育法第二十一条に記されている義務教育の目標の一部である。空欄B～Dに、下のア～キのいずれかの語句を入れてこの条文の一部を完成させる場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- ・ に親しませ、生活に必要な国語を正しく理解し、使用する基礎的な能力を養うこと。
- ・ 生活に必要な な関係を正しく理解し、処理する基礎的な能力を養うこと。
- ・ 生活にかかわる自然現象について、 を通じて、科学的に理解し、処理する基礎的な能力を養うこと。

ア 観察及び実験	イ 言語活動	ウ 読書	エ 実際の体験
オ 数量的	カ 漢字や平仮名	キ 論理的	

- | | | | |
|---|---|---|---|
| | B | C | D |
| 1 | イ | キ | ア |
| 2 | イ | オ | エ |
| 3 | ウ | オ | ア |
| 4 | ウ | キ | エ |
| 5 | カ | オ | エ |

- 5 次の文は、中学校学習指導要領（平成20年3月告示）「総則」の教育課程編成の一般方針の記述の一部であるが、下線部については誤りが含まれているものがある。各問いに答えよ。

各学校においては、教育基本法及び学校教育法その他の法令並びにこの章以下に示すところに従い、生徒の A を目指し、B 地域や学校の実態及び C 社会や経済状況の変化等を十分考慮して、D 適切な教育課程を編成するものとし、これらに掲げる目標を達成するよう教育を行うものとする。

学校の教育活動を進めるに当たっては、各学校において、生徒に E ことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくむとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努めなければならない。

問1 空欄Aに当てはまる語句はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 正しい規範意識の醸成
- 2 人として必要な道徳心の養成
- 3 主体性と人格の形成
- 4 人間として調和のとれた育成
- 5 ゆとりのある生き方の確立

問2 下線部B～Dの語句について正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

- | | B | C | D |
|---|---|---|---|
| 1 | × | × | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × |
| 3 | ○ | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ |
| 5 | × | ○ | × |

問3 空欄Eに当てはまる語句はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 生きる力をはぐくむ
- 2 学力を養成する
- 3 生命尊重の念を醸成する
- 4 基本的な生活習慣を確立させる
- 5 郷土愛を醸成する

6 次の各文は、中学校学習指導要領（平成20年3月告示）「総合的な学習の時間」の指導計画の作成と内容の取扱いの記述の一部であるが、下線部については誤りが含まれているものがある。各問いに答えよ。

- ・ 学習活動については、学校の実態に応じて、例えば国際理解、情報、環境、福祉・健康などの A な課題についての学習活動、生徒の興味・関心に基づく課題についての学習活動、地域や学校の特徴に応じた課題についての学習活動、職業や自己の将来に関する学習活動などを行うこと。
- ・ 問題の解決や B の過程においては、他者と協同して問題を解決しようとする学習活動や、言語により分析し、まとめたり表現したりするなどの学習活動が行われるようにすること。
- ・ C や異年齢集団による学習などの多様な学習形態、地域の人々の協力も得つつ全教師が一体となって指導に当たるなどの指導体制について工夫を行うこと。
- ・ 育てようとする資質や能力及び D 態度については、例えば、学習方法に関すること、自分自身に関すること、他者や社会とのかかわりに関することなどの視点を踏まえること。
- ・ 各学校における総合的な学習の時間の E 時間数については、各学校において適切に定めること。
- ・ 各教科、道徳及び特別活動で身に付けた知識や技能等を相互に関連付け、F 学習や生活において生かし、それらが総合的に働くようにすること。

問1 空欄A～Cに、下のア～クのいずれかの語句を入れてこれらの文を完成させる場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 14

ア 横断的・総合的	イ 現代的・社会的	ウ 習熟度別学習	エ 体験学習
オ 探究活動	カ グループ学習	キ 他校との連携	ク 課題研究

	A	B	C
1	ア	ウ	キ
2	ア	オ	カ
3	イ	エ	ウ
4	イ	オ	カ
5	イ	エ	ク

問2 下線部D～Fの語句について正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 15

	D	E	F
1	○	×	×
2	○	×	○
3	○	○	×
4	×	○	○
5	×	○	×

7 次の各文は、教育理論を提唱した人物に関する記述である。空欄A～Cに、下のア～カのいずれかの人名を入れてこれらの文を完成させる場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- ・ は、哲学者で、「人は教育によってのみ人間となる」という言葉を残し、人間を教育を必要とする唯一の生物であるにとらえた。彼は、道徳律に従って自由に行為することのできる人間を形成することが教育の本質的役割であると考えた。
- ・ は、世界で初めて遊びを中心とした幼児教育施設である幼稚園を設立した教育学者である。この人物は幼児に内在している創造衝動や活動衝動、表現衝動等を十分に発揮させるには適切な配慮に基づいた幼児教育が必要であると確信し、このような資質を園児たちが遊ぶなかで引き出せるような教育遊具を考案した。
- ・ は、哲学者、生物学者、心理学者として知られているが、教育論集『知育・徳育・体育』の中で国家や伝統的体制による教育への干渉を否定し、個人の自己保存を原理とした「完全な生活」を準備するものとして教育及び実証的な科学的教育学を位置づけた。

ア	ロック (Locke, John)	イ	フレーベル (Fröbel, Friedrich Wilhelm August)
ウ	カント (Kant, Immanuel)	エ	ルソー (Rousseau, Jean-Jacques)
オ	スペンサー (Spencer, Herbert)	カ	モンテッソーリ (Montessori, Maria)

	A	B	C
1	エ	イ	オ
2	ウ	カ	ア
3	ウ	イ	オ
4	ウ	イ	ア
5	エ	カ	ア

8 次の各文は、性格測定の方法を考案した人物に関する記述である。空欄A～Cに、下のア～カのいずれかの人名を入れてこれらの文を完成させる場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- ・ は、ギルフォードの性格理論に基づき質問紙法の性格検査を考案した人物である。この性格検査は、120の質問項目から構成され、手軽に実施でき、多面的な診断が可能であるため、広く用いられているが、回答者の意図的な反応歪曲に弱いという欠点がある。
- ・ は、左右対称のインクのシミが印刷された10枚の図版が何に見えるかを被験者に問い、その反応などから被験者の性格や思考様式などを捉える投影法の性格検査を考案した人物である。その整理法、解釈法はさまざまあり、膨大な研究が積み重ねられてきた。
- ・ は、A4用紙に鉛筆で「実のなる樹木を1本」描かせ、その図を評定する投影法の性格検査を考案した人物である。この検査はバウム・テストと呼ばれ、心理療法の効果測定などにも用いられている。

ア	ロールシャッハ (Rorschach, Hermann)	イ	マレー (Murray, Henry Alexander)
ウ	ローゼンツァイク (Rosenzweig, Saul)	エ	矢田部達郎
オ	内田勇三郎	カ	コッホ (Koch, Karl)

	A	B	C
1	エ	ア	ウ
2	オ	ア	カ
3	オ	イ	ウ
4	エ	ア	カ
5	エ	イ	ウ

9 次は、平成27年12月の中央教育審議会答申からの出題である。各問いに答えよ。

問1 次の文は、「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について（答申）」（平成27年12月21日 中央教育審議会）の中の「チームとしての学校」の在り方に関する記述の一部であるが、下線部については誤りが含まれているものがある。下線部A～Cの語句のうち、誤っているもののみをすべて挙げているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

「チームとしての学校」像

^A校長のリーダーシップの下、カリキュラム、日々の教育活動、学校の資源が^B合理的にデザインされ、教職員や学校内の多様な人材が、それぞれの専門性を生かして能力を発揮し、子供たちに必要な^C資質・能力を確実に身に付けさせることができる学校

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B
- 5 C

問2 次の各文は、「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～（答申）」（平成27年12月21日 中央教育審議会）の中のこれからの時代の教員に求められる資質能力に関する記述の一部である。空欄A～Cに当てはまる語句を入れてこれらの文を完成させる場合、空欄A、Bに当てはまる語句の組合せとして正しいもの、また空欄Cに当てはまる語句はどれか。それぞれ1～5から一つ選べ。解答番号は空欄A、Bの組合せ 、空欄C

- ◆ これまで教員として不易とされてきた資質能力に加え、 に学ぶ姿勢を持ち、時代の変化や自らの に応じて求められる資質能力を生涯にわたって高めていくことのできる力や、情報を適切に収集し、選択し、活用する能力や知識を有機的に結びつけ構造化する力などが必要である。
- ◆ の視点からの授業改善、道徳教育の充実、小学校における外国語教育の早期化・教科化、ICTの活用、発達障害を含む特別な支援を必要とする児童生徒等への対応などの新たな課題に対応できる力量を高めることが必要である。

空欄A、Bの組合せ（解答番号 ）

	A	B
1	自律的	ニーズ
2	発展的	モチベーション
3	自律的	キャリアステージ
4	発展的	キャリアステージ
5	永続的	ニーズ

空欄C（解答番号 ）

- 1 カリキュラム・マネジメント
- 2 言語活動
- 3 キャリア教育
- 4 アクティブ・ラーニング
- 5 教科専門性

10 次の各文は、「学校安全の推進に関する計画」（平成24年4月27日 閣議決定）の中の安全に関する教育の充実方策に関する記述の一部である。各問いに答えよ。

- ・ 学校に求められる役割として第一に挙げられるのは、各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間など学校の教育活動全体において行われる総合的な安全教育によって、児童生徒等自身に安全を守るための能力を身に付けさせることである。

具体的には、

- i) 日常生活における事件・事故、自然災害などの現状、原因及び防止方法について理解を深め、現在や将来に直面する安全の課題に対して、的確な思考・判断に基づく適切な や ができるようにすること
- ii) 日常生活の中に潜む様々な危険を予測し、自他の安全に配慮して安全な行動をとるとともに、自ら危険な環境を改善できるようにすること
- iii) 自他の を尊重し、安全で安心な社会づくりの重要性を認識して、学校、家庭及び地域社会の に進んで参加し、貢献できるようにすること

などについて、発達の段階に応じて、児童生徒等の能力を育むことが求められている。

- ・ 学校安全における生活安全、交通安全、 は、いずれも重要な課題であり、教育活動においていずれかに偏ることのないよう十分な配慮が求められる。

問1 空欄A、Bに当てはまる語句を入れてこの文を完成させる場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

	A	B
1	意思決定	危険回避
2	危険予測	行動選択
3	意思決定	行動選択
4	状況分析	危険回避
5	避難準備	情報収集

問2 空欄C、Dに当てはまる語句を入れてこの文を完成させる場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

	C	D
1	生活	防災活動
2	生命	防災活動
3	価値観	防災活動
4	生命	安全活動
5	価値観	安全活動

問3 空欄Eに当てはまる語句はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 避難訓練
- 2 防犯活動
- 3 校内安全
- 4 自己防衛
- 5 災害安全

11 次は、「人権教育の指導方法等の在り方について [第三次とりまとめ]」（平成20年3月 人権教育の指導方法等に関する調査研究会議）からの出題である。各問いに答えよ。

問1 次の文は、「学校教育における人権教育の改善・充実の基本的考え方」の中の人権及び人権教育に関する記述の一部である。空欄A、Bに当てはまる語句を入れてこの文を完成させる場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

人権教育の目的を達成するためには、まず、人権や人権擁護に関する基本的な知識を確実に学び、その内容と意義についての を徹底し、深化することが必要となる。また、人権が持つ価値や重要性を直感的に感受し、それを共感的に受けとめるような感性や感覚、すなわち を育成することが併せて必要となる。さらに、こうした と を基盤として、自分と他者との人権擁護を実践しようとする意識、意欲や態度を向上させること、そしてその意欲や態度を実際の行為に結びつける実践力や行動力を育成することが求められる。

	A	B
1	情報共有	人権感覚
2	知的理解	人権思想
3	知的理解	人権感覚
4	情報共有	人権意識
5	協働学習	人権意識

問2 次の文は、「学校における人権教育の指導方法等の改善・充実」の中の家・地域、関係機関との連携及び校種間の連携に関する記述の一部である。空欄Cに当てはまる語句はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

今日の社会は、多様な立場や思想、生活様式を共存させ、人権と自由とを保障することが求められている。人権教育の推進に当たっても、家庭や地域社会、関係諸機関等との連携や協力を進める際には、各学校における人権教育推進計画の目標との整合性を損なわないようにすること、教育の を確保することが必要である。

- 1 多様性
- 2 一貫性
- 3 合理性
- 4 中立性
- 5 普遍性

12 次は、「人権教育・啓発に関する基本計画」(平成23年4月1日閣議決定(変更))からの出題である。
各問いに答えよ。

問1 次の各文のうち、人権教育・啓発の基本的在り方に関する記述の内容として正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

26

- A 法の下での平等、個人の尊重といった普遍的な視点から人権尊重の理念を国民に訴えかけることも重要であるが、真に国民の理解や共感を得るためには、これと併せて、具体的な人権課題に即し、国民に親しみやすく分かりやすいテーマや表現を用いるなど、様々な創意工夫が求められる。
- B 人権教育・啓発にかかわる活動は、様々な実施主体によって行われているが、今日、人権問題がますます複雑・多様化する傾向にある中で、これをより一層効果的かつ総合的に推進し、多様な学習機会を提供していくためには、これら人権教育・啓発の各実施主体は、連携よりむしろ独自の活動を実施していくことが重要である。
- C 国民の間に人権問題や人権教育・啓発の在り方について多種多様な意見があることを踏まえ、異なる意見に対する寛容の精神に立って、自由な意見交換ができる環境づくりに努めることが求められる。
- D 人権教育・啓発は、国民の一人一人の心の在り方に密接にかかわる問題でもあることから、その自主性を尊重し、押し付けにならないように十分留意する必要がある。

	A	B	C	D
1	×	○	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	○	○
4	○	×	○	×
5	×	○	×	○

問2 次の各文のうち、人権一般の普遍的な視点からの取組に関する記述の内容として正しいもののみをすべて挙げているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- A それぞれの学校種の教育目的や目標の実現を目指した教育活動が展開される中で、幼児児童生徒、学生が、社会生活を営む上で必要な知識・技能、態度などを確実に身に付けることを通じて、人権尊重の精神の涵養が図られるようにしていく必要がある。
- B 初等中等教育については、新しい学習指導要領等に基づき、自ら学び、自ら考える力や豊かな人間性等の「生きる力」をはぐくんでいく。さらに、高等教育については、こうした「生きる力」を基盤として、知的、道徳的及び応用的能力を展開させていく。
- C 等しく人権尊重の精神を涵養していくためには、各学校園が、相互に連携し、幼児児童生徒、学生の発達段階や地域の実情等には左右されず、統一的な人権教育を推進していくことが必要である。
- D 校内暴力やいじめなどが憂慮すべき状況にある中、規範意識を培い、こうした行為が許されないという指導を徹底するなど子どもたちが安心して楽しく学ぶことのできる環境を確保する。

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | A | B | D |
| 2 | A | C | D |
| 3 | B | C | |
| 4 | B | D | |
| 5 | C | D | |

13 次は、生徒指導提要（平成22年3月 文部科学省）からの出題である。各問いに答えよ。

問1 次の文は、校内規律に関する指導の基本に関する記述の一部である。空欄A～Cに、下のア～カのいずれかの語句を入れてこの文を完成させる場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

学校では、児童生徒に基本的な を確立させ、規範意識に基づいた行動様式を定着させることが重要です。学級・ホームルームだけでなく学校全体で校内規律を維持することは、学校における教育活動の基盤になるとともに、学校が安心・安全な居場所となることで児童生徒に安心感を与え、暴力行為、いじめや不登校といった問題を未然に防止することにつながります。

校内規律は、自らの意志ではなく校則や教員からの指導により「 」という意識から、規範の意義を理解し、児童生徒自らが規範を守り行動するという をはぐくむことが重要です。

ア 生活習慣	イ 道徳的価値観	ウ 守られているもの
エ 正義感	オ 自律性	カ 義務付けられているもの

	A	B	C
1	ア	ウ	オ
2	ア	カ	エ
3	イ	ウ	エ
4	イ	カ	オ
5	イ	ウ	オ

問2 次の各文のうち、問題行動を起こした児童生徒への効果的な指導の進め方に関する記述の内容として正しいもののみをすべて挙げているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

29

A 学校内での暴力行為や喫煙などの問題行動が起きた場合は、学校は問題行動を起こした児童生徒はもとより他の児童生徒の健全な人格発達のために、時期を逃さずに毅然とした指導することが大切です。まずは、当該児童生徒に迅速に事実確認をしなければなりません。問題行動の事実を正確に把握し、その背景を明らかにするとともに、教員間の十分な共通理解を図った上で、校内での指導、家庭への支援・措置、関係機関との連携などの措置を講じなければなりません。

B 問題行動を起こした児童生徒の中には、学習の遅れによって、将来の希望が持てない、自分自身を肯定的にとらえることができずに、なげやりな態度になったり、教員に反抗的になっている場合もみられます。基礎的な学力が不足している場合も多くあることから、つまずいたところから学習を始める、資格を取得するなど、反省指導中に教科指導を行うことは大切なことです。

C 問題行動の指導にあたっては、保護者に対して、問題行動の事実関係、問題行動に至った経過、背景、問題行動に対する特別な指導内容などについて十分に説明し、理解を求めておくことが大切です。その際、事実関係や指導内容・方法に保護者が不満を持っている場合などもありますが、子どもが問題行動を起こした事実があることから、その保護者に対しても指導をする必要があります。

- 1 A
- 2 C
- 3 A B
- 4 A C
- 5 B C